名古屋大学大学院 創薬科学研究科
基盤創薬学専攻 主催

第2回 創薬キャリアパスセミナー

日時：2012年10月31日（水曜日）17：00～18:00
場所：理学部南館1Fセミナー室
対象：大学院生・学部生（参加費無料・学部不問）

講師：坂口　宏志　先生
（独）医薬品医療機器総合機構
新薬審査第二部　審査専門員

講演タイトル：
新医薬品が世の中に出るまで　－医薬品医療機器総合機構の立場から－

薬や医療に関わる仕事に就きたい
薬を作る仕事に人生を賭けてみたい

そんな想いを抱くみなさん！
薬を社会に提供するのは
製薬会社だけではありません。
薬に関わるどんなキャリアパスあるのか
貴重なお話を聞けるチャンスです！

みなさんは、薬に関わる仕事は製薬会社に入らないとできない、、、とは思っていませんか？
薬を社会に送り出すには、薬そのものを開発したり、製造したりする作り手と、その薬は本当に安全なのか、世の中の人があとで困ったりすることが本当に無いか、を見定める「最後の送り手」との共同作業がとても重要です。つまり、化学や生物の知識を持ちながら、「患者を守る視点」で薬をチェックするとても大事な仕事があるのです。
（独）医薬品医療機器総合機構とは、このための国の重要かつ唯一のチェック機構で、坂口先生はここで、多くの新しい薬をいかに日本の人に届けるかを審査してこられた方です。
現在、アメリカに比べて、日本ではこの関所を守る人が大いに不足していて、そのためになかなか新しい薬や、iPSのような新しい治療法が世の中に出にくい一つの原因になってきています。このため、多くの若い人が強く求められています。
この重要な薬に関わるキャリアパスについて、みなさん学んでみませんか？
企画：創薬科学研究科 加藤竜司（kato-r@ps.nmagoya-u.ac.jp）